



浄青神奈川

大本山光明寺御法主 藤吉慈海台下御染筆

神奈川浄青機関紙
第 16 号

発行日 平成元年6月1日

花まつり愛のプレゼント

— 金沢母子寮にて —

平成元年四月二十二日

平成元年度事業計画

- 四月十一日 芝・増上寺 開山上人
- 五五〇年遠忌別時念仏会
- 四月十五日 芝・増上寺 開山上人
- 五五〇年遠忌浄青法要
- 四月二十二日 花祭り愛のプレゼント
- ト及び神浄青定期総会
- 五月九日 第一回理事会
- 六月六〜七日 神浄青機関紙発行
- 第十七回関プロ総会・研修会
- 六月十二〜十七日 中国・北京・西安 神浄青海外特別研修会
- 六月三十日 第二回理事会
- 七月四日 開山忌前清掃奉仕
- 七月二十八、三十日 夏期僧堂手伝い
- 七月下旬 第三回理事会
- 八月二十八、二十九日 神戸・
- 第十九回全浄青 中央研修会
- 九月中旬 第四回理事会
- 十月四日
- 第七回神浄青ソフトボール大会
- 十月上旬 十夜前清掃奉仕
- 十月十四日 十夜手伝い・街頭伝道
- 十月十六、十七日 千葉
- 第七回関プロソフトボール大会
- 十一月二十五日 第二回帰敬会
- 十一月〜十二月 第十五回全浄代研
- 十二月上旬 第五回理事会
- 一月二十五日 別時念仏会
- 二月上旬 他宗見学研修会
- 二月上旬 一泊理事会
- 三月上旬 第七回理事会

おかげさまで浄青松第七代会長として就任以来一年が経過し、新年度の事業計画を、執行部と協議しながら、昨年度事業活動の結果について語り合う中で、時の流れる早さ、時間の短さに戸惑いはあったものの、和合を中心とした、会員の相互理解と結束強化という面については満足

新たな時代を迎えて

のいく結果が出たと思う。浄青松創立十五周年を契機に、若い会員の参加と活躍が増え始めたことは、執行部並びに役員

の熱意が会員に伝わった結果であると思う。十五周年のために半年前から、準備に奔走してくれた役員各位には心より感謝すると共に、十五周年手帳に載せる会員の顔写真の百パーセント回収という難問を見事に貫徹した理事及び会員諸師の努力に改めて御礼を申し上げます。

浄青松会長

忍 幸 呂 野

青会員は、青年僧としての若き力を持って、平和な社会を築くために、一人でも多くの、心の豊かな人作りのために、教化活動に目を向けて、現在における檀信徒教化の方法を模索して行くことが、もっとも大切なことであると思う。

寺にいて一人では不可能な事業も、浄青という若い力の結集した集団では、不可能が可能になる事業は無限にある。

是非、自分の将来の夢を浄青に於て具現化し自坊に持ち帰って欲しい。こういう意味からも、本年度事業は教化活動に目標を定め、「帰敬会」パートIIを十一月二十五日(土)に実施します。

若し会員より、教化に関するアイデアを出していただくことを期待すると共に、在家青年を、光明寺の大殿に連れて来ていただく。

◆小田原組だより

昨年度は、研修会を初めとし、各催しとも、非常に盛会で、夏休み子供道場や、寺檀懇親ボーリング大会を通じては檀信徒の子弟や、青壮年の方々との交流も深めることが出来ました。また、機関紙の発行も引き続き行ないました。

本年度の活動も、昨年に引き続き、自己研鑽、伝道教化、会員相互の親睦の三本柱を立て、これを基本とした活動を行なっていきたいと思いません。

殊には昨年度の反省を踏まえ、法然上人のみ教えを戴く者の集まりとしての自覚を深め、「念仏を唱えるため」の機会をより一層増やし、さらに、念仏を唱える中に、何をなすべきかを考えつつ、会員と共に一丸となって行動していきたいと思いません。

◆京浜組だより

今期も浄青松の活動に歩調を合わせたなかで、組独自の活動を展開したわけですが、とりわけ浄青松に多くの会員が積極的に参加し、組にも大いに活性化をもたらしてくれました。

特に組の活動の大きな柱で、毎年良忠寺で行なわれる子供修養会は、早くも七回目を迎える中、今迄修養

会に参加した子供が今年は助手を申し出る等教化の面でも又、我々の活動面でも会員外の多くの人々の援助を賜わる等年々盛大に、そして着実な歩みを見せているという感を受けました。

更に、見る人をしてその威儀等は無言の内にも深く頭を垂れさせると言われる一宗の法式を、大河内上人に講師を願い一同虚心坦懐初心に帰り指導を受け、各自大いに勉強になりました。

以上思いつくままに筆足らずで意を十分言い尽くせていないと思いますが、組の活動報告と致します。

◆三浦組だより

三浦浄青松の今年度の活動としては、組内主催として行われた前回の海外研修旅行(ポロブドール、昭和六十二年二月実施)に続き、平成元年に入り二回目の海外研修旅行(タイ二月)が実施出来ました。

又、昨年七月には、東漸寺境内に於いて親睦パーベキュー大会を行い、盛行の中、会員相互の理解・親睦がより一層深まるのを感じました。

歳末たすけあい托鉢も早や十年となり組内の定着した活動のひとつとなつていきます。

ただ、会員の半数以上が二足のわらじの為、組以外の行事参加者が毎回同じ様な顔触れという事が残念で

浄青スナツプ



88・2・6
世界真光文明教団
主神大神殿前にて



真光文明教団
— 手かざし —



89・2・6
一泊理事会・懇親会
(パークス吉野)



89.4.22
金沢母子寮にて
花まつり



88・10・14
光明寺十夜
念仏行進



88・10・22
長野・上山田
関プロソフト



88・11・19
15周年記念
パーティー



89.4.11
増上寺 開山堂
関プロ常念仏

IN
'88

自慢じゃありませんが

私やっています!!

沢山の出逢いに包まれた

♥アジア心の出前展♥



港南組 奥田 昭 応

(金台寺)

*このコーナーは会員のユニークな活動を紹介しています。
奥田会員は新聞等にも掲載されました。

昨年十月九日より十五日迄の一週間、我が金台寺の本堂を会場にして、『第一回♥アジアの心出前展♥タイ国障害者絵画展』を開催しました。堂内に、タイ国の障害者を持つ五歳から二十五歳までの人達が描いた絵画や、施設や障害者達の生活写真、アジア諸国の刺繍や染物、バキスタンイフガオ族の木彫り、インド・ミテイラ地方の女性が描く伝承的な民族絵画、タイ・バングラ・インド・ネパールを歩いた時の数々の写真等、種々のナマの生活に関連する作品を展示しました。BGMにカシミール地方の民族音楽や我国に伝わる雅楽を流しました。プラス視覚的に『インド心の旅』と『インド・ミテイラ地方に伝わる民族画』のビデオを交互に使いました。作品の提供に沢山の方々が協力して頂けたことに深く

感謝しています。

この出前展を開催するきっかけは、一つには、私自身の中で次の理解を見つけた時から始まります。初めに現在の社会の中でアジア・アフリカを中心とした途上国への関心が膨れ上るなかで、どうしてもその感情は悲哀を伴う同情が強く、金銭的援助はするが何等根本的解決の糸口を見いだそうとしない現状。南北の格差を益々上げる要因を、実は同じ日本人(企業を中心とする)が作っている事。悲観的に見れば本当に救援を必要としている民族・国々があるという事実。彼らの中を浮浪している時、本当に同じ人間なんだなあと気付いた事。難しいけどそんな事です。子供達に話をする時、理屈でいくより「もしあなたたちがその村の子供だったら:」という場面を設定

してあげることが大切です。しかし多くの大人たちが「ほら可愛想ね」「あなたたちは幸せよ」と最初から別世界に子供達の想像力をもつていつてしまいます。この時既に、私達と途上国の間に優劣を作っているのではないのでしょうか。

必要なのは問題意識より、先ず周りの国や民族・人々を好きになってもらうことです。途上国にも凄く素敵な財産があります。青い空、澄んだ海、素朴な人間関係、村の暮し(助け合いや共同生活)。悲惨な場面ばかり見せないで、もっときれいな場面を見せてあげてほしいと思います。



協力してくれた皆さんと! 左:奥田会員

出来たら、生活の中で親と子が、素直な関心の中で会話し理解してくれたいと思います。贅沢を言えばナマを実際に見て、触れてくれたらもつ

と身近に感じてくれると思います。どうなんでしょう? 私達日本人を含めて全ての人々が求め、必要としているものは決して余るほどの豊かな物質ではなく、人々の暖かい心の援助・心のつながりなのではないのでしょうか。(かっこよすぎるかな)

この行事で、とても気の良い沢山の人達に逢う事が出来ました。予算も殆どありませんでしたが、開催に至る間に多くの人と出会い、話しを交わす中でアイディアと、作品を寄贈して頂きました。スタッフも一人二人と集まってきました。

中でも成田正雄さん(車椅子、県職員 2522-8177)との出会いはとても興味あるご縁でした。

「障害児の暖かい豊かな心をより多くの方に見てもらいたい。海のむこうの知らない外国の世界ではなく、同じ地球に住む仲間が描いた絵を、少しでも見てくれる人がいるなら絵の方から出かけていけばいい。」そんな彼と意気統合して今回の開催にこぎつけたわけです。(現在は病院や学校を回っています)

『お寺って結構面白い所ですよ!』そんなノリで色々やる中で、沢山の事が解ってきたり、考えさせられたりします。同じ夢や問題意識を持つ仲間にもめぐり逢えます。今年の秋、ガレーセールをやりませう。よかつたら、誰か一緒にやりませうか。

新入会員紹介

— 切り取って、浄青手帳（名簿）に貼って下さい —

京浜組



渋谷隆信（シブヤリュウシン）S 31.1.3生
三宝寺 〒221 横浜市神奈川区台町7-1
TEL 045-322-1713
加行成満 S 52.3. 血液型 A+

港南組



井上行彦（イノウエユキヒコ）S 42.8.9生
願行寺 〒235 横浜市磯子区中原町2-13-12
TEL 045-771-3968
加行成満 S 63.12. 血液型 O

鎌倉組



小野善雄（オノゼンユウ）S 42.10.24生
千光寺 〒254 横浜市金沢区東朝比奈1-37-1
TEL 045-781-4652
加行成満 S 63.12. 血液型 O

三浦組



進藤法雄（シンドウホウユウ）S 41.10.29生
無量寺 〒240-01 横須賀市長坂4-21-18
TEL 0468-56-0758
加行成満 S 63.12. 血液型 A

中郡組



齋藤良典（サイトウリョウテン）S 38.3.26生
阿弥陀寺 〒254 平塚市平塚3-5-23
TEL 0463-32-7676
加行成満 血液型 O

森本カメラマンの
こんな
見つけましたケド



私が 真光 です



会長怒って、子供泣く - 金沢母子寮にて -



あえて語らず - 世界真光文明教団にて -



僕、永原っていうんだ!!
- 15周年記念懇親会にて -

Let's 光明寺

Go Go

このままじゃ
いけないうぢがする
だから私は「帰教会」



1989. 11. 25

OPEN 9:00
 CLOSE 17:00
 PLACE KOHMYOJI-TEMPLE
 6-17-19 ZAIMOKUZA, KAMAKURA
 Tel. 0467-22-0603
 FEE ¥5,000
 主催 浄土宗神奈川教区青年会
 後援 浄土宗神奈川教区・大本山光明寺

編集後記

早いもので、あっという間に『浄青神奈川』発行の日となりました。企画より原稿依頼、期限をすぎても中々集らない原稿に、予定通り進まない状態が続き、怒声の交わる編集会議の連続でした。例年より、少し軽めかと思いますが、会員の皆様に親しまれる紙面作りを目指して見ました。ご意見をお待ちしております。又本紙発行に關しまして、良忠寺様にひとかたならぬお世話になりましたことを併わせて申し添えます。

(M)

安心の安という字は、家の中に女と書く。家の中に女がいるというのは心が安まるという意味です。しかし、安は、ヤスイとも読めるのです。これは、外で飲むより、家で飲めば値段も安くて心も安まるということなのです。つまり女がいるというのは重要な意味をもつのです。浄青女性会員大募集します。

(独身のN)

浄青バンザイ。私はこれからも神奈川浄青のぬしといわれるようにガンバります。皆様もどうぞ今後の協力をお願い致します。そうです。私はいったい誰でしょう。

(N)

(N)